



# ばらばらで一緒

～美香保中だより～

発行 札幌市立美香保中学校

住所 東区北17条東6丁目1-1

電話 (011)-711-8151



## 宿泊学習を終えて

～「形のない贈り物」が繋ぐ、次へのステップ～

2学年

今年度の宿泊学習は、「集団としての絆を深めること、社会性を育むことや地域への理解を深めながら、次年度の修学旅行のステップへと繋げる体験活動とすること」をねらいとして実施しました。1泊2日の行程を終え、このねらいは十分に達成されたと確信できる、実りの多い行事となりました。

その理由として第一に挙げられるのが、生徒たちの規律ある行動です。班員や室員と互いに協調しながらも主体的に活動し、すべての行程において時間通りの行動ができていました。それだけでなく、小樽自主研修、学年レク、空港バックヤード見学、牧場での手作り体験など、どの活動にも目を輝かせ、意欲的に取り組む姿が見られ、一人ひとりが充実した時間を過ごすことができました。

そして、今回の宿泊学習における大きな成果と感じられたのは、学年合唱を通して全員が「一体感」と、歌うことの「価値感」を肌で感じられたことです。宿泊学習に向けて、生徒たちの手で「合唱プロジェクト」を立ち上げ、宿泊学習当日に向けて、昨年度の合唱コンクールの学年合唱曲であった『夢の世界を』の練習を重ねてきました。子どもたちが主体となって紡いできた歌声は、宿泊先のホテルで大きな感動を生みました。

心を込めて披露した合唱に、ホテルのスタッフの方々からは直接「本当に感動しました」と温かいお言葉をいただき、2日間を共にしてくださった添乗員さんは涙を流してその歌声に耳を傾けてくださいました。自分たちの歌声が誰かの心を震わせ、笑顔にする。合唱が、最高の感動を届ける「形のない贈り物」になるのだということを、子どもたち自身が深く実感してくれた瞬間でした。

これらの経験は、生徒たちに確かな自信をもたらしました。互いを思いやり、一つの目標に向かって心を一つにする大切さを知った彼らは、集団として一回りも二回りも大きく成長しました。

仲間と協力して規律を守り抜いた社会性と、合唱を通して育んだ強い絆。これらはすべて、次年度の修学旅行へつながる大変有意義なステップであり、最高学年への大きな足がかりとなったと感じています。自分たちの力で集団を動かし、感動を届けることのできるこの学年なら、来年の修学旅行をさらに一段高いレベルで大成功させてくれるに違いありません。

保護者の皆様には、これまでの準備や健康管理、そして温かい送り出しなど、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今回の宿泊学習で得た「絆」と「自信」を糧に、これからの学校生活でも2学年一丸となって、さらに素晴らしい学年を築いてまいります。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

5月27、28日の二日間で2年生が宿泊学習を行いました。その様子を生徒作文で御紹介します。



### 『宿泊学習を終えて』

私は、この宿泊学習を通して、自主研修が一番心に残りました。私の班は、小樽市総合博物館に行きました。事前の予定では10時30分に着くはずでしたが、結局着いたのは11時でした。なぜそうなったのかは事前の準備不足と下調べ不足が原因といえます。私たちは、ずっと博物館という駅で降りると認識していましたが、全然駅来ないかと待っていると水族館に近づいてきたので慌てて降りました。降りた場所は記念碑前という人通りも車通りも少ない所でした。近くに墓地があったせいか少し不気味でした。しかし、降りた場所や班員が面白いのもあり、戻るバスを待つことも楽しめました。私たちは博物館を見るのを1時間程削ったのでチェックポイントや集合場所に遅れることはありませんでした。このように、イレギュラーなことが起きて班員や先生方に大迷惑をかけてしまいましたが、自主研修を悔いなく楽しめたのは、サポートしてくれた班のみんながいたからだと思います。とはいうものの、修学旅行ではトラブルを起こしたり、慌てたりしたくないので、念入りの準備や確認、班内での分担を心掛けたいと思います。なので班は変わりますが、今から班長として班員への呼びかけや、確認のし合いを徹底したいです。そして、自分の仕事や役割に責任や自覚をもち、最後までやり遂げていきたいです。

準備不足という課題はありましたが、私たちだからこそその経験が出来、最高の宿泊学習を過ごせました。私は、この班で本当に良かったと実感しました。班のみんなには感謝でいっぱいです。

## 避難訓練(不審者対応)

6月16日(火)、東警察署のご協力をいただき、校内に不審者が侵入した事態を想定した避難訓練を実施いたしました。今回の訓練では、生徒の安全を確保するための手段として、教員の指示のもとで各教室の入り口に机や椅子を素早く集めてバリケードを構築するという、実践的な訓練を行いました。子どもたちは皆、強い緊張感を持って真剣に取り組んでいました。

避難完了後は体育館に移動し、警察署の方から「いざという時に自分の命を守るための行動」や「避難訓練の重要性」などについてお話をいただきました。

予測困難な事態に冷静に対応するためには、日頃からの備えが欠かせません。学校では今後も安全意識の向上に努めてまいります。

